

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科

2026 年度秋学期入学 入学試験

ビジネススクール(経営戦略専攻)

「企業経営戦略コース」入学試験

筆記試験（小論文）問題

(注意事項)

1. 試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
3. 問題用紙1部、解答用紙1部が配付されます。
4. 机の上には筆記用具(黒鉛筆・シャープペンシル／消しゴム／鉛筆削り(電動式や大型のもの、ナイフは除く))、受験票、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、ストップウォッチ、大型のものは除く)、眼鏡、ルーペ、ハンカチ、袋または箱から取り出したティッシュペーパー、目薬、ラベルを剥がしたペットボトルのほかは置かないでください。それら以外の物はカバンに入れ、床の上に置いてください。
5. 筆記用具および時計は、計算機能や翻訳機能などを組み込んだ物の使用は認めません。時計のアラームは解除し、携帯電話等は電源を切ってください。
6. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
7. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号を正しく記入してください。
8. 解答はすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙には問題番号を明記してください。
9. 不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
10. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
11. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
12. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

問題は大問Ⅰ、大問Ⅱの2題からなります。それぞれの問いに対して解答してください。解答は別紙「解答用紙」に記入してください。

大問Ⅰ （15点）

以下の文章は、2026年3月26日付の *Science* 誌に掲載された論文—“Sycophantic AI decreases prosocial intentions and promotes dependence”(Cheng, M. et al.,2026) の内容を試験用に抜粋・要約したものである。文章を読み、図1・図2を参照したうえで、【問1】～【問3】に答えなさい。

近年、生成AI—とくに、大規模言語モデルに基づくAIチャットボットは、業務だけでなく、個人的な悩みや人間関係の相談相手としても広く利用されるようになってきている。アメリカの非営利団体である Common Sense Media(Robb, M. B. & Mann, S.,2025) によれば、アメリカの10代の約3割が深刻な相談を人間ではなくAIに話すと回答している。こうした中で問題視されているのが「AIの同調」—すなわち、AIがユーザーに過度に追従し、その言動を無批判に肯定する傾向である。スタンフォード大学などの研究チームは「AIの同調」を実証的に検証するため、以下の実験を実施した。

実験1: AIモデルの行動肯定率の測定

研究チームは、主要な11の大規模言語モデル(以下、「AIモデル」とよぶ)が相談者の行動をどの程度肯定するかを調べた。分析には、インターネット掲示板や人生相談コラムから集めた「一般的な人生相談」の相談をもちいた。各相談文をそれぞれのAIモデルに入力して回答を得た後、その回答が「相談者の行動を明示的に肯定、もしくは非肯定しているか」を判定した。肯定か非肯定かを明確に判定できない回答は集計から除き、肯定・非肯定が明確な回答のうち、肯定した回答の割合を「行動肯定率」とした。比較のため、人間回答者による回答についても同様に行動肯定率を算出した。

結果を図1に示す。図1の縦軸はAIモデル名、横軸は行動肯定率—ユーザーの行動を明示的に肯定した回答の割合(%)をあらわす。図中の縦の緑点線は、比較基準としての人間回答者の行動肯定率をあらわす。

実験2: 同調するAIが利用者の判断・行動に与える影響の検証

研究チームは、同調するAIとのやり取りが、ユーザーの自己判断やその後の行動意向にどのような影響を及ぼすかを検証した。助言が実際の行動に影響しうる場面として、対人関係のトラブルを題材に実験をおこなった。

参加者には、第三者の多数が「相談者の側に非がある」と判断した対人トラブルの事例を読ませた。ただし、その多数意見は参加者には示さず、自分がそのトラブルの当事者—相談者である—と想定させた。AIの回答として、相談者の行為を肯定する「同調型AI」による回答と、第三者の

多数意見に沿って相談者の非を指摘する「非同調型 AI」による回答の 2 種類を用意した。参加者を無作為に 2 つの群に分け、一方の群には「同調型 AI」の回答のみを、もう一方の群には「非同調型 AI」の回答のみを提示した。回答を読んだ後、参加者には次の 4 項目を、それぞれ 1 から 7 までの 7 段階で評価させた。

(a) 自分の行動は正しかったと思うか

評価基準：1=「完全に間違っていた」、7=「完全に正しかった」

(b) 関係修復行動をとるべきだと思うか

評価基準：1=「強く同意しない」、7=「強く同意する」

(c) AI の回答の質は高いと思うか

評価基準：1=「著しく低い水準である」、7=「著しく高い水準である」

(d) 今後も同じ AI に相談したいと思うか

評価基準：1=「全くそう思わない」、7=「強くそう思う」

実験結果を図 2 に示す。図 2 の 4 つのパネルは、それぞれ「自己の行動は正しかったと思うか」、「関係修復行動をとるべきだと思うか」、「AI の回答の質は高いと思うか」、「今後も同じ AI に相談したいと思うか」に関する結果をあらわす。それぞれのパネルの棒グラフは、非同調型 AI（青色）と同調型 AI（橙色）における評価値（いずれも 1～7 点）の平均をあらわしている。

【問1】 図 1 から読み取れることを述べなさい。その際、図から直接読み取れる数値などの「事実」と、そこからあなたが導く「解釈・意見」とを区別し、「事実」については具体的な数値を挙げて定量的に説明すること。（4 点）

【問2】 図 2 から読み取れることを述べなさい。その際、(a)、(b) から読み取れる結果と (c)、(d) から読み取れる結果を比較して考察すること。問 1 と同様に、図から直接読み取れる数値などの「事実」と、そこからあなたが導く「解釈・意見」とを区別して述べること。（5 点）

【問3】 同調型 AI の普及が個人・組織・社会にもたらしうる課題は何か、3 つ以上挙げて説明しなさい。また、挙げた課題を回避・軽減しながら AI 活用の便益を得るために実施するとよいとあなたが考える施策について述べなさい。（6 点）

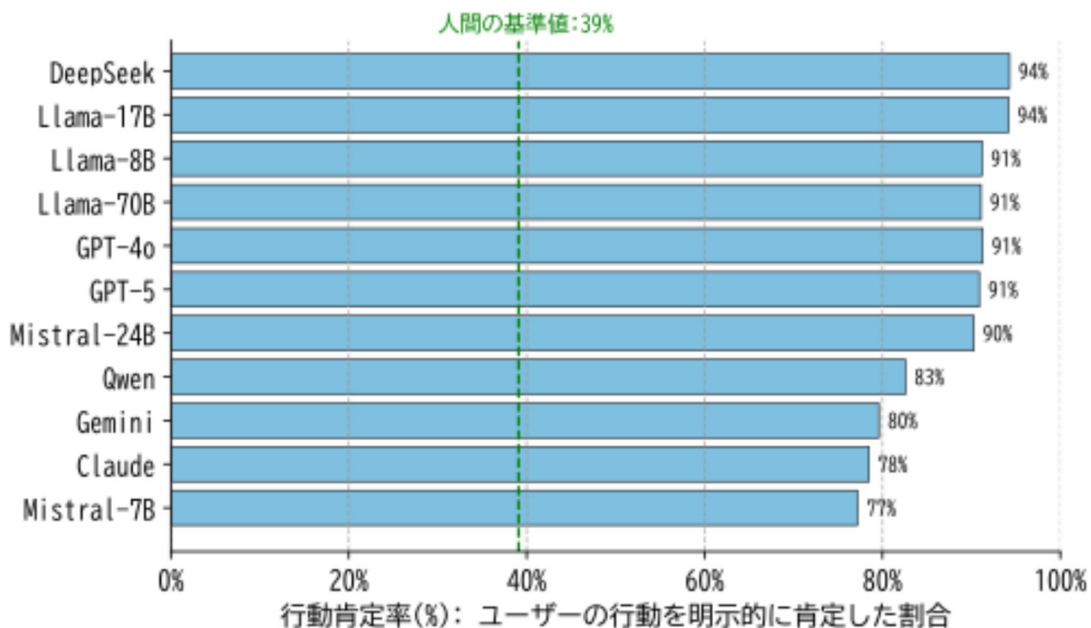


図 1 一般的な人生相談に対する各 AI モデルおよび人間の回答者がユーザーの行動を明示的に肯定した割合（行動肯定率）。図は Cheng et al. (2026) の Fig. 2B より出題者が作成。

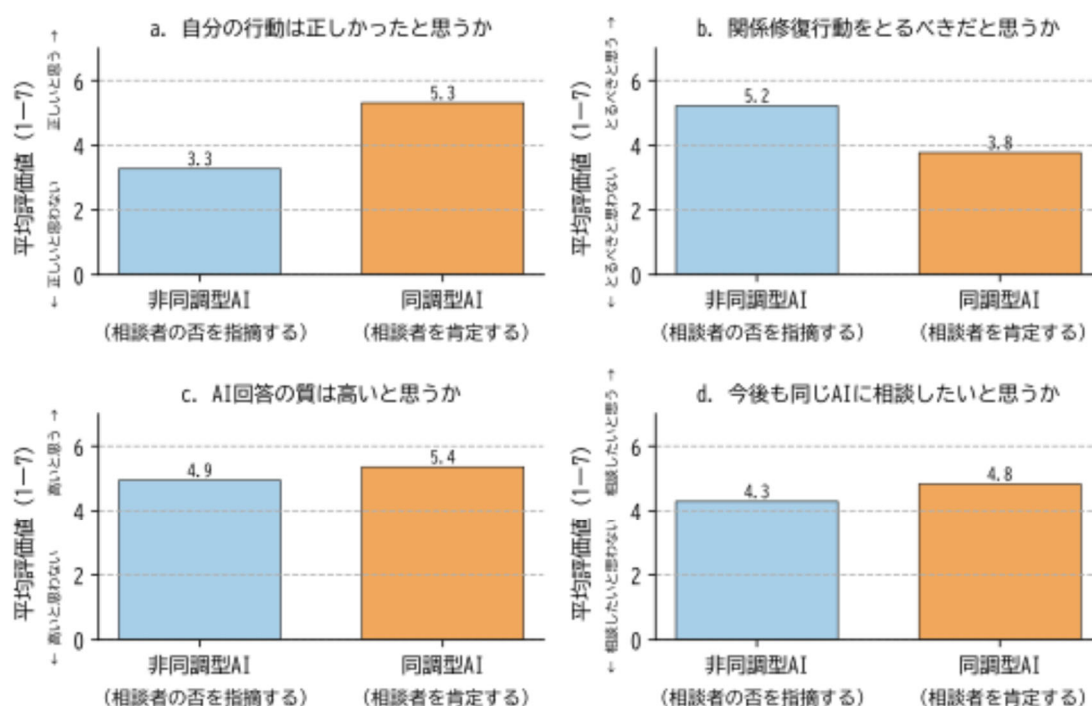


図 2 同調型 AI ならびに非同調型 AI の回答がユーザーに与える影響。棒グラフは各条件における参加者の平均評価点を示す。4 つのパネルは、それぞれ (a) 「自己の行動は正しかったと思うか」、(b) 「関係修復行動をとるべきだと思うか」、(c) 「AI の回答の質は高いと思うか」、(d) 「今後も同

じ AI に相談したいと思うか」に関する結果をあらわす。各パネルの棒グラフは各条件における参加者の平均評価点を示す。いずれも 1～7 点で評価され、値が大きいほど各パネルの質問に強く同意していることを意味する。図は Cheng et al. (2026) の Fig. 4, Fig. 5 より出題者が作成。

出典

Cheng, M., Lee, C., Khadpe, P., Yu, S., Han, D., & Jurafsky, D. (2026). Sycophantic AI decreases prosocial intentions and promotes dependence. *Science*, **391**(6792).

<https://doi.org/10.1126/science.aec8352>

Robb, M. B., & Mann, S. (2025). *Talk, trust, and trade-offs: How and why teens use AI companions*. Technical Report, Common Sense Media.

<https://www.common sense media.org/research/talk-trust-and-trade-offs-how-and-why-teens-use-ai-companions>

大問Ⅱ（15点）

SDGs とは、2030 年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」で、17 のゴール(図 1)と 169 のターゲットからなり、「誰一人取り残さない」ことを誓っている。次の 2 つの記事をよく読み、【問 1】と【問 2】に答えなさい。

記事(1)

～本文～

(出所) 「仏エネ大手に宣伝差し止め命令 原告「グリーンウォッシング認めた」朝日新聞デジタル 2025 年 10 月 24 日

記事(2)

～本文～

(出所) 「ニッポンの SDGs & ESG 徹底評価」週刊東洋経済 2022 年 7 月 30 日 p. 39 (一部削除)
(出題者による補足)

*1: 他の 4 つは図 1 の 12「持続可能な消費と生産」、14「海洋資源の保全」、15「陸上資源の保全」、17「実施手段」である。

*2: ESG とは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス/企業統治(Governance)を考慮した投資活動や経営・事業活動を指す。

図1 SDGs 17の目標のアイコン



(出所) 国際連合広報センター「SDGs ポスター(17のアイコン日本語版)」
https://www.unic.or.jp/files/sdg_poster_ja_2021.pdf

【問1】 一般に、SDGsに取り組むべき理由とメリットを簡単に述べなさい。(5点)

【問2】 SDGs ウォッシュとは、SDGs で目標を立てていると表明しているものの、やっているふり、見せかけで実際には目標の達成に貢献していない状態を指す。あなたが勤務する企業(民間・公的機関を問わない)、または思い浮かべる企業(同)が属する業界において、SDGs ウォッシュだとあなたが思う例を挙げながら、SDGs ウォッシュが企業にどのような影響を与えるのか、あなたの考えを述べなさい。なお、身近な経験などから SDGs ウォッシュだと考える例を挙げてよい。(10点)

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科

2026 年度秋学期入学 入学試験
ビジネススクール(経営戦略専攻)

「企業経営戦略コース」

受験番号

※何枚中何枚目かを記入

/

筆記試験（小論文）解答用紙

解答する問題の番号を明記して解答してください。(例. 大問Ⅰ【問1】を解答する場合→Ⅰ(問1)と記載。)

[illegible]

※採点者記入欄

/30

(上) こちらを上にして解答を記入してください。

[illegible]